



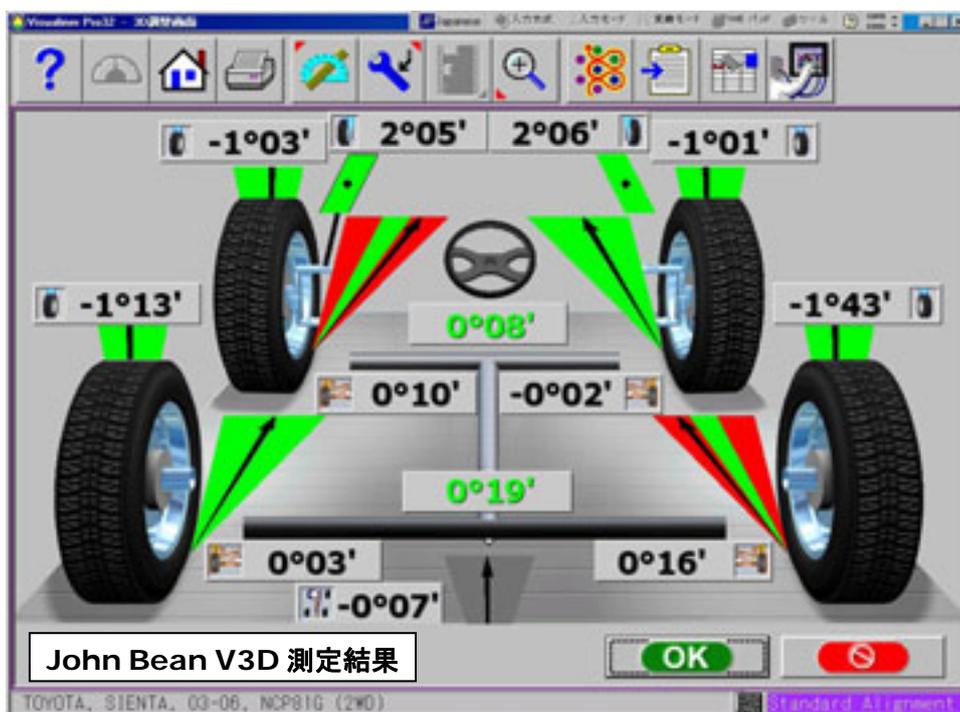
SPC
PERFORMANCE™

TOYOTA SIENTA に SPC パーツを取り付け

縁石に乗り上げてしまったというトヨタ シエンタ (NCP81G) のアライメントを John Bean ARAGO を使って測定しました。



外見ではわかりませんが、測定してみると右リアトーに許容範囲を超える大きな狂いがあります。このまま走行をするとまっすぐ走らない、タイヤが偏磨耗してしまうなどが考えられます。



ジャッキアップしてみるとリアアクスルに当たった痕がありました。



アクスル交換(部品代約 5 万円+ 工賃)は部品代も高く、取り付け位置に問題がある場合は交換しても直らない可能性があります。またフレーム修正/アクスル取り付け位置修正では、アクスル自体の向きを変えることはできますが、トータルトーは変えられません。今回のようにトータルトーが 20' と許容範囲ぎりぎりの場合は、個別トーを 10' ずつ振り分けて左右のトーを許容範囲に入れるのはたいへんな作業と思われる。

EZ シムを使えば少ない部品代と工賃でカンタンに右リアのみ修正を行うことができます。カーオーナーも少ない出費ですみ、工場も工賃で利益をあげることができます。

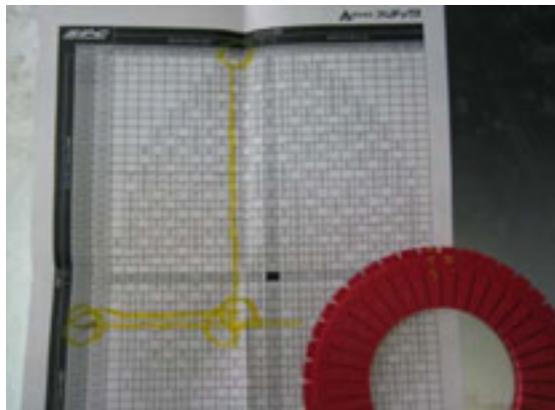


EZ シム一枚で修正



EZ シムの取り付け

左リアキャンバーの数値に近づけるため右リアキャンバーを+30'に変化させ、右リアトーを-15'変化させます。しかし、チャートにこの組み合わせがないためキャンバー変化を+23'に変更しました。



ハブ取り付け穴に合わせてカットする前に、ハブ穴径に合わせてEZシムの内側を削り、内径を約3mm 広げます。その後ハブ取り付け穴に合わせてカットします。



ジャッキアップする前にバックプレートとリアアクスルなどに上死点の印をつけます。





ボディージャッキアップポイントで車両後部を上げ、タイヤを外し、4本の取り付けボルトとABSセンサーを外します。ブレーキラインを傷めないように注意します。



EZシム接触面を掃除して、カットしたEZシムをマークした上死点とズレないように取り付けます。



最も薄い部分から十文字にボルトを締めます。



タイヤを付けて、車両を下ろします。



株式会社 アムテックス
<http://www.amtecs.co.jp/>
 電話番号: 0422-45-2086
 ファックス番号: 0422-48-4435

ユーザー名: この手順を始める前にポジションニ 日付: 2008/05/09 11:53
 勤務先: VIN 作業者:
 登録番号: オーダー番号:
 走行距離:
 車両: TOYOTA, SIENTA, 03-06, NCP81G (2WD)

